

事前評価書

年度	28
整理番号	

事業名・路線名等		道路改築事業 一般県道 大泊浜徳浦線 <small>かたうら</small> (堅浦工区)	事業主体	大分県
所在地		津久見市大字堅浦		
事業概要	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員狭小、線形不良の解消による走行性、安全性の向上 ・歩道設置による安全な歩行・通学路空間の確保 ・津久見港(堅浦地区)の小型船だまり整備事業との合併施工 		
	事業内容	<p>【計画延長・幅員】 L=675m(バイパス)、W=6.0(9.75)m</p> <p>【道路区分】 第3種第3級 【設計速度】 V=40km/h 【計画交通量】 3,300台/日 (H42)</p> <p>【現況幅員】 W=4~5m(最小4.0m) 【交通量】 3,464台/日(H27実測)</p> <p>【重要構造物】 橋梁1橋(L=30m)</p>		
	事業費	C=800百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から10年(平成38年度)		
	事業段階毎の実施計画	<p>1年目 道路詳細設計、地形測量</p> <p>2年目 用地測量、用地補償</p> <p>3年目 用地補償</p> <p>4年目 用地補償</p> <p>5年目 道路工事</p> <p>6年目 道路工事</p> <p>7年目 道路工事</p> <p>8年目 道路工事</p> <p>9年目 道路工事、橋梁工事</p> <p>10年目 道路工事、橋梁工事 完成</p>		
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員狭小、線形不良のため通行車両の離合が困難 ・歩道未整備のため歩行者の通行が危険(平成24年度通学路緊急合同点検の要対策箇所) ・死傷事故1件/5年(平成23年~平成27年) 		
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員狭小、線形不良箇所の解消による走行性、安全性の向上 ・堅徳小学校への通学路等、安全な歩行・通学路空間の確保 ・造船所等から津久見ICへのアクセス強化 		
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	・B/C=1.2		
	工法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法、道路構造令、道路橋示方書に適合した工法を採用。 ・現道拡幅案、バイパス案、2案の比較を行い、最も経済的なルートを選定。 		
	コスト縮減	・アスファルト・砕石は再生資材を利用。		
	環境等への配慮	・埋蔵文化財調査を行い、関係機関と協議のうえ文化財の保護を図る。		
事業実施環境	事業の実効性	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年5月に津久見市より要望書あり。地元からの強い要望もあり、協力体制も整っている。 ・道路線形決定の段階から、地元調整を積極的に図っている。 		
	事業の成立性	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランに位置付けられている路線。(都市計画道路長野堅浦線) ・「安心・活力・発展プラン2015」、「おおいた土木未来プラン2015」、「大分県長期道路整備計画『おおいたの道構想2015』に基づき事業実施している。 ・道路法第15条及び第29条に基づき実施。 ・社会資本整備総合交付金交付要綱に規定された事業内容、採択基準の要件に適合。 		
	事業の特殊性	-		
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。		

